



**目標達成の方法を導き出す「オープンウィンドウ64」
～マンダラート/マンダラチャートの使い方～**



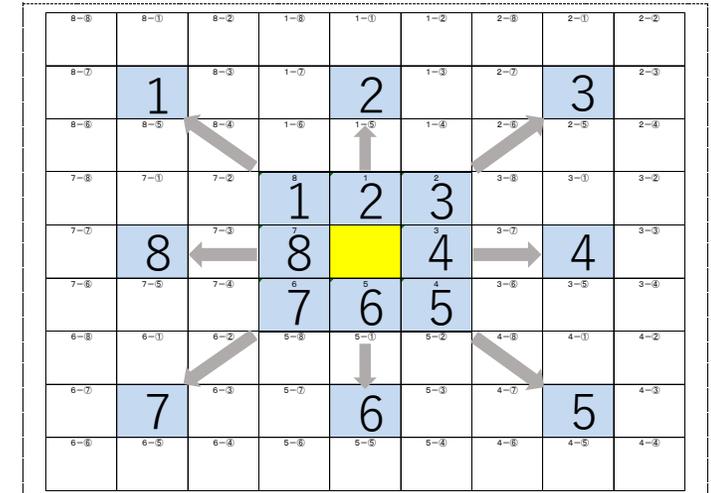
オープンウィンドウ64（マンダラート/マンダラチャート）とは？

ビジネスでもスポーツでも、「自分を掲げた目標を達成する」ことが非常に大切です。

目標を達成するためには、目標達成するための方法を洗い出し、施策や行動に落とし込んでいくが大切です。何か達成したい目標があるときに、目標達成の方法を洗い出すために役立つのが「オープンウィンドウ64（ろくじゅうよん）」と呼ばれるツールです。

「オープンウィンドウ64」では、1つの目標達成に向けて、8個の方法論（基礎思考）を考え、更に出てきた8つの方法論を8個の具体的な施策（実践思考）のアイディアに落とし込みます。つまり、1つの目標達成に向けて合計64個の方法を洗い出します。

「オープンウィンドウ64」は、目標達成に向けた施策立案はもちろん、上司やベテラン社員の知恵を見える化して共有することにも役立ちます。



基礎思考と実践思考とは？

基礎思考

物事の大枠を捉えた抽象的な思考（方法論）です。目標等の達成のためにどんな方法論があるか、大分類のテーマを8つ挙げます。得意分野だけに偏らないよう、網羅的に検討することがポイントです。

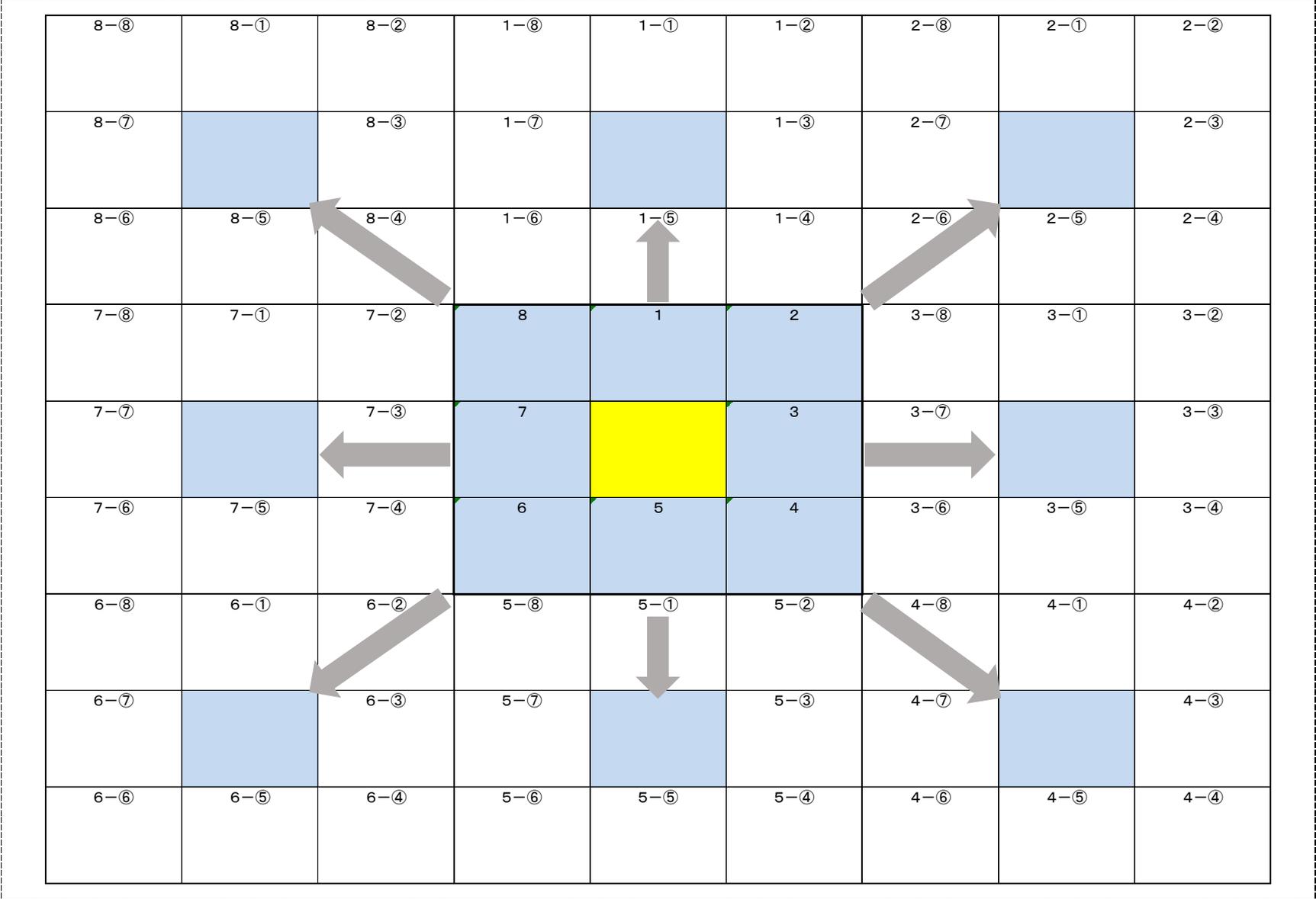
実践思考

基礎思考を具体的にした思考・行動であり、実際の活動場面がイメージできるレベルの施策です。8つの基礎思考ごとに「具体的に何をするのか？」という質問を自分に投げかけながら施策を考えます。

オープンウィンドウ64の具体的な手順

- ① 達成したい目標や事業方針、プロジェクトのゴールをシートの中央に書きます。
 - ② 中央に書いた目標等を達成するために必要な基礎思考を8つ検討し、目標等を囲むように書き出します。
 - ③ 書き出した基礎思考を、次ページの矢印のように、外側の8つの窓の中央に転記します。
 - ④ 転記した基礎思考毎に、必要な実践思考を8つ検討し、基礎思考を囲むように書き出します。
- ※ 8つ以上書き出してもOKです！基礎思考は転記する時は優先順位が高い8つに絞り込みましょう。
- ※ 違う基礎思考で、同じ実践思考に出てきてもOKです。目標達成に欠かせない重要な行動かも知れません。

目標達成の方法を導き出すオープンウィンドウ64



基礎思考の作成例

実践思考の作成例

例1

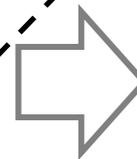
IT活用	販売促進	マーケティング
顧客満足度向上	売上目標1000万円達成!	部下のレベルアップ
サービス向上	コミュニケーション	営業スキルアップ



部下を1日1褒め	毎日1時間商談ロープレ	出社後すぐに部下の見込状況を確認
関係性を築くために、週に1回食事	部下のレベルアップ	訪問企業の状況確認とフィードバック
月に1回レビューを行う	プレゼン大会週に1回行う	商品の説明を週に3つ行う

例2

確認の徹底	指示の出し方	責任領域の決定
仕事への取り組み姿勢	クレーム件数0件達成!	優先順位
仕入先とのコンタクト	今までのクレームのまとめ	報連相の徹底



何か指示を出す時には、納期を決める	指示を出す際、報連相のタイミングを決める	毎朝、出社後すぐに状況を確認する
共有すべき情報を朝礼で確認	報連相の徹底	毎週金曜日部下に仕事の状況を確認
月に1回レビューを行う	退社直前に報連相があるか確認	信頼関係を築くため、週1回部下と食事

目標達成の方法を導き出すオープンウィンドウ64

オープンウィンドウ64は、完成した形からマンダラートやマンダラチャートとも呼ばれます。
 A3の紙などに手書きで線を引いて作ってもいいですし、エクセル等でも作成が可能です。
 (手を動かしたほうが脳が刺激されますので、はじめのうちは手書きで作ることがおすすめです)

8つの基礎思考に展開するのに5分、1つの基礎思考を実践思考に展開するのに5分など、
 時間を決めて、集中して作成することが大切です。
 5分ずつで作成すると、45分で64マスが埋まります。

マスが埋まったら、全体を眺めながら基礎思考に抜け漏れがないかをチェックしたり、優先順位が高い施策をピックアップしたり、二の手・三の手として整理しましょう。

慣れてくると、1時間で目標達成の方法を洗い出して、
 実行施策の一覧へと洗い出すプロセスを精度高く実行できます。

